

○消防庁告示第 号

平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）第二及び第四の規定に基づき、昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を次のように改正する。

令和七年 月 日

消防庁長官 大沢 博

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重下線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

改正後	改正前
<p>別表第 10 動力消防ポンプ設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検 次の事項について確認すること。</p> <p>〔(1)～(3) 略〕</p> <p>(4) 内燃機関 〔ア～カ 略〕</p> <p>キ 吸排気装置 変形、損傷等がなく、機能が正常であること。</p> <p><u>(5) 電動機</u> <u>ア (4) エ及びカに準じた事項に適合していること。</u> <u>イ 動力伝達装置の機能が正常であること。</u> <u>ロ 電動機駆動用蓄電池の充電の残量が指示計に表示されること。</u></p> <p><u>(6) ポンプ</u> 〔ア～エ 略〕</p> <p><u>(7) 車台装置及び搬送装置</u> (消防ポンプ自動車を除く。) 変形、損傷、締付部の緩み等がないこと。</p> <p><u>(8) 積載器具</u> 〔ア～オ 略〕</p> <p>〔2 略〕</p>	<p>別表第 10 〔同左〕</p> <p>1 機器点検 〔同左〕</p> <p>〔(1)～(3) 同左〕</p> <p>(4) 内燃機関 〔ア～カ 同左〕</p> <p>キ 吸排気装置 〔同左〕</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>(5) ポンプ</u> 〔ア～エ 同左〕</p> <p><u>(6) 車台装置及び搬送装置</u> (消防ポンプ自動車を除く。) 〔同左〕</p> <p><u>(7) 積載器具</u> 〔ア～オ 同左〕</p> <p>〔2 同左〕</p>

別記様式第5 泡消火設備（その3）

泡消火貯蔵槽等	消火薬剤貯蔵槽				
	消火薬剤 (型式番号)	L			
泡消火薬剤等	圧力計	MPa			
	バルブ類				
泡消火薬剤等	混合装置	形			
	外				
泡消火薬剤等	薬剤混合装置				
	加圧送液装置				
泡消火薬剤等	外	形			
	泡放出障害				
泡放出口	未警戒部分				
	バルブ本体等	MPa			
流圧水検知装置・表示装置	リターデインゴ・チャンバー				
	圧カス イ ッ チ	設定圧力 作動圧力 MPa MPa			
音響警報装置・表示装置					
一斉開放弁（電磁弁を含む。）					
防護区画（高発泡を用いる設備に限る。）	区画変更等				
	開口部の自動閉鎖装置				
非常停止装置（高発泡を用いる設備に限る。）					
泡放射用器具格納箱等	周囲の状況				
	泡放射用器具格納箱	外 形			
ホース・ノズル	外 形	ホース ノズル径 m × mm			
	ホースの耐圧性能				
ホース接続口	開 弁				
	閉 弁				
表示灯	開 弁				
	閉 弁				
耐 震 措 置					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の緊措置した内容を記入すること。

別記様式第5 [同左]

泡消火貯蔵槽等	消火薬剤貯蔵槽				
	消火薬剤 (型式番号)	L			
泡消火薬剤等	圧力計	MPa			
	バルブ類				
泡消火薬剤等	混合装置	形			
	外				
泡消火薬剤等	薬剤混合装置				
	加圧送液装置				
泡消火薬剤等	外	形			
	泡放出障害				
泡放出口	未警戒部分				
	バルブ本体等	MPa			
流圧水検知装置・表示装置	リターデインゴ・チャンバー				
	圧カス イ ッ チ	設定圧力 作動圧力 MPa MPa			
音響警報装置・表示装置					
一斉開放弁（電磁弁を含む。）					
防護区画（高発泡を用いる設備に限る。）	区画変更等				
	開口部の自動閉鎖装置				
非常停止装置（高発泡を用いる設備に限る。）					
泡放射用器具格納箱等	周囲の状況				
	泡放射用器具格納箱	外 形			
ホース・ノズル	外 形	ホース ノズル径 m × mm			
	ホースの耐圧性能				
ホース接続口	開 弁				
	閉 弁				
表示灯	開 弁				
	閉 弁				
耐 震 措 置					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の緊措置した内容を記入すること。

別記様式第5 泡消火設備（その4）

総 合 点 検									
固定式の泡消火設備	ボンプ方式	加圧送水装置							
		表示・警報等							
		電動機の運転電流	A						
		運転状況							
		一斉開放弁							
	分布等	低発泡を用いるもの							
	分布等	高発泡を用いるもの							
	減圧のための措置								
	表示・警報等								
	高架水槽方式等	一斉開放弁							
分布等	低発泡を用いるもの								
分布等	高発泡を用いるもの								
減圧のための措置									
移動式の泡消火設備	ボンプ方式	加圧送水装置							
		表示・警報等							
		電動機の運転電流	A						
		運転状況							
		減圧のための措置							
	発泡倍率等								
	表示・警報等								
	高架水槽方式等	発泡倍率等							
	減圧のための措置								
	備考	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
測定機器									

備考
1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第5 [同左]

総 合 点 検									
固定式の泡消火設備	ボンプ方式	加圧送水装置							
		表示・警報等							
		電動機の運転電流	A						
		運転状況							
		一斉開放弁							
	分布等	低発泡を用いるもの							
	分布等	高発泡を用いるもの							
	減圧のための措置								
	表示・警報等								
	高架水槽方式等	一斉開放弁							
分布等	低発泡を用いるもの								
分布等	高発泡を用いるもの								
減圧のための措置									
移動式の泡消火設備	ボンプ方式	加圧送水装置							
		表示・警報等							
		電動機の運転電流	A						
		運転状況							
		減圧のための措置							
	発泡倍率等								
	表示・警報等								
	高架水槽方式等	発泡倍率等							
	減圧のための措置								
	備考	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
測定機器									

備考
1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 10 動力消防ポンプ設備（その 1）

動力消防ポンプ設備点検票									
名称				防火管理者					
所在				立会者					
点検種別	機器・総合氏名	点検年月日	年 月 日		年 月 日				
点検者	点検者社名		TEL						
点検者	所属会社住所								
点検者	製造者名								
点検者	型式等								
点検項目		点検結果		措置内容					
		種類・容量等の内容		判定不良内容					
		機器		点検					
周囲の状況		槽量							
貯水		m ³							
水									
源		水		装置					
給		周囲の状況							
吸管投入		吸管投入口							
孔・採水口		採水口							
標		開閉弁							
燃料		油		L					
内		滑							
燃		外		形					
機		電池		電液					
起		端子電圧		V					
機		動力伝達装置							
関		動力伝達装置							
電動機		冷却装置		ラジエータ等					
機		冷却装置		ラジエータ等					
電動機		排気装置		置					
本		電動機駆動用蓄電池							
ボ		真空潤滑剤							
ポン		ポンプ自動停止スイッチ							
作		計器							
動		動							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第 10 [同左]

動力消防ポンプ設備点検票									
名称				防火管理者					
所在				立会者					
点検種別	機器・総合氏名	点検年月日	年 月 日		年 月 日				
点検者	点検者社名		TEL						
点検者	所属会社住所								
点検者	製造者名								
点検者	型式等								
点検項目		点検結果		措置内容					
		種類・容量等の内容		判定不良内容					
		機器		点検					
周囲の状況		槽量							
貯水		m ³							
水									
源		水		装置					
給		周囲の状況							
吸管投入		吸管投入口							
孔・採水口		採水口							
標		開閉弁							
燃料		油		L					
内		滑							
燃		外		形					
機		電池		電液					
起		端子電圧		V					
機		動力伝達装置							
関		動力伝達装置							
電動機		冷却装置		ラジエータ等					
機		冷却装置		ラジエータ等					
電動機		排気装置		置					
本		電動機駆動用蓄電池							
ボ		真空潤滑剤							
ポン		ポンプ自動停止スイッチ							
作		計器							
動		動							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第 36 特定駐車場用消火設備 (その 3)

減圧のための措置					
配管等	管・管継手				
	支持金具・つり金具				
	パルプ類				
	ろ過装置				
	遮し配管				
配管等	流水検知装置二次側配管 (予作動式のものに限る。)				
	末端試験弁				
	混合装置試験弁				
	標識				
	消火薬剤貯蔵槽				
消火薬剤貯蔵槽 (型式番号)	(泡第 ～ 号)				
	圧力計				
	パルプ類				
	外形				
	泡消火薬剤混合装置				
及び加圧送液装置 泡消火薬剤混合装置	加圧送液装置				
	外形				
	感知障害				
	放射障害				
	未警戒部分				
閉水送液へ 鎮圧型 ノド等	適応性				
	外形				
	放射障害				
	未警戒部分				
	水雷へ 開放型 泡	外形			
感知継手等	放射障害				
	感知障害				
	未警戒部分				
	適応性				
	一斉開放弁 (電磁弁等を含む)				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の箇所置した内容を記入すること。

備考 表中の「」の記載及び対象規定の二重下線を付した標記部分を除く全体に付した下線は注記である。

別記様式第 36 [同左]

減圧のための措置					
配管等	管・管継手				
	支持金具・つり金具				
	パルプ類				
	ろ過装置				
	遮し配管				
配管等	流水検知装置二次側配管 (予作動式のものに限る。)				
	末端試験弁				
	混合装置試験弁				
	標識				
	消火薬剤貯蔵槽				
消火薬剤貯蔵槽 (型式番号)	(泡第 ～ 号)				
	圧力計				
	パルプ類				
	外形				
	泡消火薬剤混合装置				
及び加圧送液装置 泡消火薬剤混合装置	加圧送液装置				
	外形				
	感知障害				
	放射障害				
	未警戒部分				
閉水送液へ 鎮圧型 ノド等	適応性				
	外形				
	放射障害				
	未警戒部分				
	水雷へ 開放型 泡	外形			
感知継手等	放射障害				
	感知障害				
	未警戒部分				
	適応性				
	一斉開放弁 (電磁弁等を含む)				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の箇所置した内容を記入すること。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。